

## ピックアップ

# 「坂の上の雲」放映に合わせた 企画展の開催

NHKが3年間にわたり12月に放映している、スペシャルドラマ『坂の上の雲』第3部が始まる。09年の第1部「青春編」、10年の第2部「友情編」に続いて、今年はこのドラマのクライマックスとなる佐世保・対馬地域が舞台となった日本海海戦を描く第3部「激闘完結編」。

ドラマの原作、小説『坂の上の雲』は司馬遼太郎の代表作の一つで「近代国家」の仲間入りを目指した明治の日本を、伊予・松山出身の秋山真之、その兄の秋山好古そして正岡子規の3人の人生の軌跡をたどりながら実証的に描かれている。単行本は全6巻、文庫本は全8巻にも及ぶ長編で、現在では発行部数2,000万部を超える国民的文学となっており、幅広い年齢層のファンが多い作品である。

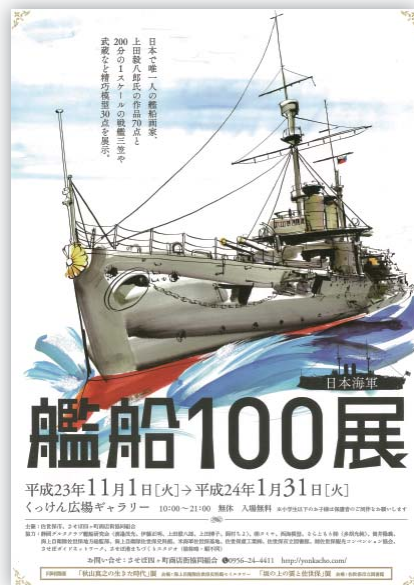
佐世保市ではドラマの放映を機に、「坂の上の雲」を観光振興に活かそうと、関連する歴史、史蹟の掘り起こしなどにつとめてきている。いよいよ佐世保が舞台となる第3部が放映される今年は、市内でいろいろな関連企画・イベントが繰り広げられている。

## 「港まち佐世保」の企画展

佐世保市がさせば四ヶ町商店街協同組合と共催しているのが、佐世保の歴史と現代の佐世保港の魅力をPRする企画展「日本海軍 艦船100展」である。させば四ヶ町商店街の「くっけん広場」に、港まち佐世保の歴史写真と日本で唯一の戦艦画家 上田毅八郎氏の作品70点（うち原画50点）や、200分の1スケールの戦艦「三笠」、「武蔵」など精巧模型30点を展示。また、エア・フォトグラファーの多胡光純氏が、モーターパラグライダーを操り、空から撮影した日頃見ることができない「港まち佐世保」の映像を限定公開している。



戦艦「三笠」の模型



「日本海軍 艦船100展」パンフレット

## 「坂の上の雲」に関連した講演会・トークショー

11月6日（日）には、「スペシャルドラマ“坂の上の雲”制作の裏側」と題した、ドラマのチーフプロデューサー藤澤浩一氏による講演が行なわれた。このなかでは、明治時代の建物や景色を



藤澤 浩一 氏による講演の様子

できるだけ忠実に再現するために、ドラマの撮影場所は日本国内で22都道府県、世界12カ国といった、これまでにない大がかりなロケ撮影となったことや、実写映像にCGなどを加える視覚効果（VFX）を駆使した最新の映像技術が随所に使われていることなどが紹介された。

また11月11日（金）には「“させば港・まちなか”映像初公開とトーク」と題して、パラグライダーで佐世保の街や九十九島を撮影した多胡光純氏によるトークイベントが開催され、日頃みることができない上空からの迫力ある映像が紹介された。



多胡 光純 氏による講演の様子

## グルメフェアの開催

さらにこの時期、佐世保市内では「西海・佐世保食の王国“S級グルメ”を食べつくせ!」と題したグルメフェアを開催しており、企画展と合わせて「港まち佐世保」の魅力を満喫できる。

「佐世保Style“食べる”スープ」は港まち佐世保の冬の名物の一つとして売り出しているボリュームたっぷりの逸品。ミルク、トマト、味噌など5種類からスープベースが選べるなど、多彩なスープを18軒のレストランで味わうことができる。さらに、アメリカの食文化を日本人好みにアレンジした佐世保発祥メニュー「レモンステーキ」や、旧日本海軍の伝統メニュー「海軍さんのビーフシチュー」など、長崎和牛を使ったメニューが楽しめる「西海・佐世保食の王国ビーフグルメフェア」が26軒のレストランで行なわれるなど、盛りだくさんである。

## 同時開催の企画展

上記のほかにも、佐世保市立図書館郷土資料室で「坂の上の雲と佐世保展」、海上自衛隊佐世保資料館セイルタワー（1階展示室）で「秋山真之の生きた時代展」が開催されており、「坂の上の雲」の時代を感じることができる。

「艦船100展」では、今後も「港まち佐世保」に関するトークイベント等が予定されている。12月のドラマ放映によって多くの観光客の来訪が期待される。

（泉 猛）

### 【企画展の概要】

| 場 所                                  | 企画展名タイトル        | 開催期間        | 主 な 内 容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|--------------------------------------|-----------------|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| させば四ヶ町商店街<br>協同組合<br>くっけん広場          | 日本海軍<br>艦船100展  | 12年1月31日まで  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○港まち佐世保の写真と、日本で唯一の艦船画家 上田毅八郎氏の作品70点、「艦船三笠」などの精巧模型30点などを展示。</li> <li>○エア・フォトグラファー多胡光純氏が9月中旬から3週間かけて撮影した「港まち佐世保」の映像を限定公開。海上自衛隊の護衛艦や赤煉瓦倉庫、SSKの上空などの映像を見ることができる。</li> </ul>                                                                                                                                                              |
| 佐世保市立図書館<br>郷土資料室                    | 坂の上の雲と<br>佐世保展  | 11年12月28日まで | <ul style="list-style-type: none"> <li>○佐世保市史編纂資料をデータベース化して保存しているため、約20万件のデータの中から、パソコンで「坂の上の雲」に関連する資料を検索し、閲覧することができる。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                            |
| 海上自衛隊<br>佐世保資料館<br>セイルタワー<br>(1階展示室) | 秋山真之の生きた<br>時代展 | 12年3月31日まで  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○秋山真之に関連する写真や資料などを展示。</li> <li>○日本海海戦に関する資料などを展示。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本海海戦時の天気図</li> <li>・「本日天気晴朗ナレドモ波高シ」（発信電文の写真）</li> <li>・日露戦争終結後、東郷指令長官による連合艦隊解散の辞</li> <li>・1905年6月3日、佐世保海軍病院に入院したロジェストウェンスキー提督を東郷長官や秋山参謀らが見舞った際の様子を描いた絵画。</li> <li>・1905年9月11日深夜、佐世保港内において発生した「三笠」爆沈事故後の浮揚作業の写真など。</li> </ul> </li> </ul> |